

—アメリカの高等教育における—

女性学の現状と課題

能登 洋子

《はじめに》

留学研修の第一の目的は、「女性学」発祥の地アメリカの大学において早期に「女性学」の講座開設から、独立学部へと飛躍的に発展したワシントン大学において「アメリカの高等教育における女性学の現状と課題」をテーマに研修することであった。

ワシントン大学では「女性学部」所属客員研究員として、関係スタッフの協力も得て下記の研修内容を拡大しながら研修、調査することが出来た。

特に、この調査については、当初の予定を変更し隣接する州をはじめとして西部、東部の大学へと拡大したのは、ワシントン大学で有志学生の協力を得て共同リサーチ（継続中である）の形をとることができたことによるもので、大きな収穫であり有意義なものになった。

当初、ワシントン大学において予定していた研修内容は

- 1) 「女性学」が学部としてどのようなカリキュラムと内容によって開講されているか
- 2) 「女性学」はどのような学問領域からアプローチされているか
- 3) WOMEN STUDIES INTERNSHIPS の実施状況

を研修内容としたが、研修を進めるうちに条件の異なる他州における大学における「女性学」開講状況についても調査を試みることにし、隣接のオレゴン州、カリフォルニア州を訪問、その実状についてリサーチを試みた。

アメリカの大学においては、「女性学」が急速な研究発展を遂げてはいるが、「女性学」に対する取組や位置づけは、地域や大学によっ

て大きな相違が見られる。各大学における「女性学」プログラムの歴史は、その背景にある「女性運動」と切り離すことが出来ない。

「運動」と「研究」という両者が、たがいにその成果を発展的に相互作用としての存在であることは望ましい姿であるが、アメリカにおいては「女性運動」と「女性学」が互いに示唆を得ながら発展してきていることがうかがえる。

また一方、これまで多くの伝統的な学問領域における女性研究が、新しい視点を反映させながら「女性学」として独立の学問領域へと、その存在は動かし難いものとして発展しているのが現状である。

しかしながら、「女性学」を既成の学部内でカリキュラムに入れることは、研究者が独自の既成の専門分野内に女性という視点に焦点をあてての研究を講座として開設するというのであれば比較的容易なことではある。

これに比して、「女性学」を専門課程として独自のプログラムを持つ学部として開設するには、「女性学」に必要な隣接する各学問分野の研究と教育体制を整えることが大きな課題となっている。

以下は、留学研修を通じてワシントン大学における開設の実情とアメリカ西部、東部（継続調査中である）の各州において認可登録大学808校について「女性学講座」の開設状況を調査したものを抽出したものである。

この研修を通じ、今後の課題として

- ①今後ともアメリカにおける「女性学」研究を継続して行く
 - ②日本における「女性学」研究の視点として、
 - ①「女性学」がマルチディシプリナリなものだけに、「女性学」は既存の学問分野の中で研究されるべきなのか、
 - ②「女性学」が人間全体像の中で研究される「人間学」として総括される第一歩として捉えるべきなのか、
- について継続研究をすすめて行きたい。

次に、研修・調査内容の概要について述べてみたい。

1. ワシントン大学女性学部における開設科目とその内容
2. インターンシップ制度
3. 「女性学」アプローチの学問領域
4. アメリカの大学における女性学開設状況（西部地区・東部地区）

ワシントン大学 女性学部における開設科目とその内容

1. 常設コースにおける開設科目とシラバスの概要

つぎに挙げる科目は、「女性学部」に常設されている主な開設科目とシラバスの概要である。

1～2年次生科目

必修	単位	科目名	コース No.	シラバスの概要
必	5	「女性学入門」	200	各種社会における性差と性の不平等の構成と実情について分析する
必	5	「フェミニズム哲学」	206	フェミニズムの主たる概念の哲学的分析 フェミニスト運動、理想社会の視野、フェミニスト活動の目標と戦略、圧力組織とジェンダー体系との交差の視点からみたフェミニスト運動の理論的解説
必	5	「ジェンダー・戦争・平和」	250	ジェンダーを通して理解できる戦争と平和問題の調査範囲について 男性が戦争に行き、女性は行かない。女性は平和を望む。女性は譲られるべきで、男性は本来攻撃的で好戦的なものと長い間考えられてきた伝統についての討議
必	5	「ジェンダーの心理学」	257	性役割発達の主たる心理学理論について 行動における決定と継続して性差に至る生物学的、環境的影響、子供の性役割、攻撃における性差、認識能力、業績動機、参加性について
	5	「女性史入門」	283	女性研究センターにおけるアメリカ人、ヨーロッパ人、第三世界（アジア、アフリカ、中南米の発展途上国）の女性問題について。男性支配領域における女性の立場、文化（健康・芸術）における女性の役割、女性の生活（技術・植民地化）における大きな変遷についてなど
	2 5	「女性学特別課題」 (最高15単位まで)	290	女性学研究の外来研究者または専任教員からの女性学の課題提供

3～4年次生科目

必修	単位	科目名	コース No.	シラバスの概要
	5	「女性学調査方法論」	302	女性学の学際的研究のための適切な調査方法論を研究する
	5	「国際的状况におけるフェミニズム」	305	ジェンダー、人種、民族、階層、国家、ジェンダーの基礎的概念入門
	5	「女性と法律」	310	法律はいかに女性に対処してきたか（黒人女性、貧困女性、レスビアン、無能力女性などに対して）
	5	「政治と女性」	313	政治的、社会運動における女性参加の理論的、歴史的、経験的研究
	5	「人種・階層・ジェンダー」	322	アメリカにおける歴史的、現代的見地からの黒人女性の人種、階層、ジェンダーの交差について
	5	「ジェンダーと国際化：理論と課程」	333	植民地主義、資本主義、経済的改造政策、消費者と環境運動におけるフェミニズムの研究課題について
	5	「女性と国際経済発展」	345	アジア・アフリカ・中南米の発展途上国における経済発展で、いかに女性に变化を及ぼしたか、女性の発展がいかなる意義を持つものかの再定義について
	5	「法律・文学における女性」	350	アメリカの法律と文学の中の女性 女性が政治的地位の向上や、いかなる社会的役割を行動をもって影響を及ぼしたかについて判例と課題を文学テキストで提言し、法律がいかにして文学的表現で影響を受けることができるかを研究
	5	「女性の人類学的研究」	353	文化的背景における種々な女性の体験、現状、役割などにおいて交差文化的、比較概念及び人類学的理論
	5	「男性・男らしさ」	355	男性のフェミニスト運動への組織的反應の批判的研究
	5	「女性心理生物学」	357	女性生活の生理学的、心理学的の局面について
	5	「生活史調査方法」	374	生活史構成の手法と手順について（日記、手紙、写真、個人面談、テープレコーダー等） 学生には毎学期ごとに生活史を作成させる
	5	「アメリカ女性社会史」	383	アメリカ女性の多種多様な人種、文化研究（16世紀から現代まで）
	5	「アジア系アメリカ女性」	392	合衆国アジア系アメリカ人女性に関する同時代の課題史
	5	「比較女性運動と活動」	405	女性運動と活動における比較文化、国家的、歴史的研究 女性運動と抵抗の複合の場での批判的分析
	5	「フェミニスト法律研究」	410	法律のフェミニスト理論的分析
	5	「教育におけるジェンダーの公平性」	415	ジェンダーへの偏見、差別および高等教育にかかわる多様なジェンダーの公平性課題についての均衡を求める戦略について
	5	「中年女性」	424	女性の人生研究（中年女性の経験と関心事、肉体的、生理学的変化問題を含めて）
	5	「女性と暴力」	427	女性の生活に影響を及ぼす連続的暴力の問題についての探究
	5	「女性の経済」	447	所得、労働力関係、職業の選択、教育と消費におけるジェンダー相違の原因についての経済的分析 人的資産、豊かさと家庭内資産の配分についての経済的理論

必修	単位	科目名	コース No.	シラバスの概要
	5	「女性・言語・音楽と変化」	454	女性の地位と役割の補強と変化を説明する神話・物語、音楽ほか豊富な文化を使用した比較的分析：交差文化的分析
	5	「現代フェミニスト理論」	455	着想が理論となった政治的背景状況の問題提起
	5	「フェミニズム・人種主義・反人種主義」	456	世界での女性の生活における人種主義、フェミニズムの意味の研究
	5	「母権のイデオロギー形態と科学技術：人種、階層、性別」	458	母権の文化的構成、多種イデオロギー形態と科学技術的境遇での規制と管理方法の研究
	5	「科学と技術における少数民族と女性の課題」	485	身体科学と技術における女性と少数民族が直面する課題への提言
	5	「女性と科学」	488	女性と科学との間の緊張と関連点 特に注目し調査した生殖作用の科学と技術の影響
	5	「民族、ジェンダーと環境」	489	女性と黒人の環境描写
	2 5	「女性学特別課題」 (最高15単位まで)	490	女性学の課題と女性学研究の関連課題についての調査 来訪研究者または女性学教員による課題提供 基本的には高学年、大学院生対象
必	3	「高学年論文Ⅰ」	491	一連の高学年論文入門コースは、全専攻科目必須、学生は毎週のセミナーに出席、論文課題を選び適切な教員アドバイザーと連絡する コースの終了は論文提出次第である。専攻学生と3～4年生のみ
必	3	「高学年論文Ⅱ」	492	高学年生論文の第2コースで、専攻学生必須、専攻学生と高学年のみ
必	4	「高学年論文Ⅲ」	493	論文プロジェクトの第3四半期、論文の調査と執筆は教員アドバイザーの指導下で行われる
	5	「女性学チューター」	495	コースでチューターとしての役割を果たす グループ討議・研究課題執筆の補助、題材の解説など
必	3 15	「女性学フィールド・ワーク：インターンシップ」	497	政府地方機関でのインターンシップ 専攻分野における特別スキルの成長をはかることを目的とする
	1 5	「大学生調査」 (最高10単位まで)	499	教員メンバーによる指導を受けながら個別研究と調査を行う
	5	「フェミニズム史」	501	18世紀から20世紀の世界各国のフェミニズム研究
	5	「フェミニスト調査と質問方法」	503	学際研究のために適切な調査方法の探究
	5	「フェミニスト人類学セミナー」	553	フェミニスト人類学理論と批評の研究
	1 10	「修士論文」	700	修士論文
	1 10	「修士実習科目」	701	修士実習科目

II. 「女性学」学位取得の必須条件

女性学においては、次の必須条件を充たした学生は、文学士の学位を取得することができる。

そのためには、女性学専攻の学生は1年または2年レベルでは、常に最低2.0 (Grade Point Average) 以上の成績でなければならない。

1. 専攻学科必須条件 Part-1

1) 「女性学入門」

他大学で修得した同等の科目からの単位でも、この条件を充たすことができる。

2) 1～2年での「女性学」に関する科目は、次のなかから1科目を選択し履修しなければならない。

「女性の世界的展望への導入」

「フェミニズムの哲学」

「ジェンダー・戦争と平和」

「ジェンダーの心理学」

「女性史入門」

3) 人種と民族については、次から1科目を選択する。

「人種・階層とジェンダー」

「フェミニズム・人種主義・反人種主義」

4) 「現代フェミニスト理論」

5) 4～5年での「女性学」科目は、開設科目から15単位を履修加算しなければならない。

6) 「女性学フィールド・ワーク」(インターンシップ) 最小限3単位から15単位

「女性学」専攻の学生は、政府地方機関をはじめとして適切なインターンシップ先を選択し、多様な分野において各自が関心を持つ適切な特殊分野のスキルを伸ばすことができる。

インターンシップの受講登録には、実施期間のスポンサーが必要になる。

- 7) 「高学年論文」10単位を、次により修得しなければならない。
- 「高学年論文Ⅰ」(3単位 秋学期) 高学年論文への入門
 - 「高学年論文Ⅱ」(3単位 冬学期) 個々の作業、調査・研究
 - 「高学年論文Ⅲ」(4単位 春学期) 論文完成に向けての研究

2. 専攻学科必須条件 Part-2

女性学専攻は、次のオプション・コースのうち一つを修得しなければならない。

1) オプション・コース 1

進路集中：女性学専攻在籍の高学年学生は、オプション・コースから25単位研究修得しなければならない。

この単位のうち、女性学コース10科目からの10単位を含み、他の関係する部門のうちからも履修が認められている。

2) オプション・コース 2

個別専念：女性学専攻在籍の高学年学生は、女性学アドバイザーと学生が個々の研究についての課題をきめる。

ここでは、学生に女性学における自身の進路を決める機会を提供する。

高学年開設科目から25単位を修得する。

他の学科からの重複専攻学生は、両学部の必要条件を充たすため15単位をオーバーラップすることができる。

このオプションは、重複学科専攻の学生のため双方の学部に開放している。(副専攻生)

副専攻学生の必要条件

学生は30単位を副専攻として、充たさなければならない。

インターンシップ制度

1. インターンシップの先進国アメリカの現状

インターンシップ制度は、アメリカにおいて100年余りの歴史がある。

現在では、全米（2年制、4年制）約700校が採り入れ、インターンシップを経験して卒業する学生は全体の約7割とも言われている。

アメリカの大学は、セメスター制とクォーター制であるため、インターンシップを学期間にはめ込みやすいと言える。

以下は、この制度がアメリカにおける大学の教育システムにどのように導入されているのか、またどのような教育的意義をあげているのかについて調査し、考察したものである。

2. インターンシップ制度導入の利点

インターンシップ制度は、大学と企業が連携して、学生のうちに企業で就労経験を積むことで、大学（教育機関）で学習したことを実践的に応用する機会をあたえ職業人としての人材を育てるシステムである。

1) 制度のメリット

インターンシップ制度の利点については、学生側、企業側と教育機関ではつぎの点が挙げられる。

◇学生側：在学中に、大学における専攻と関連した仕事の経験を積むことができる。学生にとっては、在学中に自分で仕事の分野を選び仕事の実地体験をすることにより、職業選択の決定に役立てることができる。

その職場で将来雇用につながるチャンスが与えられる。

制度によっては、雇用者から賃金が支払われる場合があり、在学中に経済的な利点につながる。

◇企業側：雇用するか否かについて、適切な選択ができ優秀かつ適切

な人材を確保できる。

採用後のトレーニング経費削減にもつながる。

◇教育機関側：職場での研修を学業カリキュラムと統合することにより、学生に対して学習の場を学外にも幅を広げさせ教育的意義がある。

ビジネス社会の変化に対応した最新のカリキュラムを組み込むことができる。

3. インターンシップの制度について

アメリカにおけるインターンシップ制度を分類すると、厳密には次の二つに分かれているのが実情である。

制度の違いは、企業における研修期間中、学生が報酬を得ることができるか否か、期間の長短、単位の取得と大学の関与である。

1) コーオプ制度：

企業研修中に報酬を得ることが出来る。

大学が制度として正式に取り入れていて、職業や学問の目的に関連した職場を経験出来るように企業の就労の準備段階から終了まで大学がシステム的にかかわっているものである。

企業での就労期間中は非雇用者となり報酬を得て、働いた経験は単位と認められる。

必修として取り入れている大学も多く、卒業後の就職に結びつくケースが多い。

期間が3カ月から1年と長期なところもあり、フルタイムで長期間就労する場合は一般学生より卒業までの年月が長くなるケースもある。

また、コーオプ期間中は、授業料は諸経費のみで授業料は払わない。

2) インターンシップ制度：

企業研修中は、報酬がない場合が多い。

インターンシップについては、単位取得として加算はされない。期

間中であっても授業料を支払う。大学からのサポートも最小限。

したがって、サマーインターン（夏期インターン）のように夏休みの1～2カ月アルバイト的に働くケースが多い。

4. ワシントン大学におけるインターンシップ制度導入について

ここでは、主に多くの学生がインターンシップに参加している学部（Engineering）での導入例である。

1) 制度の種類：コーオペ制度採用

2) タイプ：

①オルタナティブ型（Alternative）

これは、学期の間にはさみ、卒業までに複数回繰り返す型の総称である。

②パラレル型（Parallel）

学業と就労を平行して行う型でインターンシップはパートタイムの労働になる。

3) 期間：

6カ月（Engineering）

3カ月（Summer）

12カ月（パラレル・パートタイム）

4) 回数：（卒業までの回数である）

3回（マキシマム＝6カ月間）

1回（ミニマム＝3カ月間）

5) インターンシップ学生の受入先

アメリカにおけるインターンシップ学生の最大の受入先は、連邦政府36省庁と言われている。

ワシントン大学では、Engineeringの学生はMicrosoft Corporation、IBMなどをはじめsoftware/hardware企業が大口受入先となっている。

5. 「女性学」専攻学生のインターンシップについて

インターンシップ先の選択は、社会奉仕、教育、芸術、健康ケア、

政治、公共奉仕等多様な分野において女性学アドバイザーと学生が相談して決めることができる。

1) インターンシップでの単位取得

インターンシップは「女性学」専攻学生にとって必須条件であるが、必要単位は各1 / 4期ごとに3時間×5回=15単位（1時間=50分）である。

2) 「女性学」専攻学生のインターンシップ受入先

女性学専攻学生のインターンシップ受入先については、主として政府地方機関が継続的受入先になっている。

一例として次に挙げてみたい。

Alternatives to Fear

Aradia Women's Health Center

National Organization

Northwest Center for Research on Women

Seattle Office for Women's Rights

Seattle Youth and Community Services

University YMCA

Washington State Legislature

Washington State Women's Political Caucus

Women's Center at the UW

「女性学」アプローチの学問領域

1. アメリカにおける「女性学」の誕生とその背景

アメリカにおける「女性学」誕生の背景には、「女性解放運動」と切り離すことが出来ないことは周知のことである。

1960年代後半にアメリカから始まり世界中に広まったウーマンリブ運動は、第二波女性解放運動（新フェミニズム）とも呼ばれている。

また、アメリカにおいてこの1960年代は、「女性学」誕生の社会的背景として大学改革運動がある。

この学生運動と女性解放運動（新フェミニズム）とが結びつき、女性としての自己認識の場を求め女子学生と女性教員とが共に「女性学」プログラム設置の要求として誕生したのが「女性学」である。

「女性学」プログラムに対する取組や位置づけは地域や大学によって大きな相違が見られたが、各大学における「女性学」プログラムの歴史は、その背景にある「女性運動」を切り離すことが出来ないことは、ワシントン大学における女性学開設科目からもうかがうことが出来る。

2. 「女性学」の視点

アメリカで誕生した「Women's Studies」の訳語である「女性学」とは、

①「人間として、女性尊重の立場から学際的に女性およびその関連する諸問題を研究する学問であり

②女性の視点（立場）から既成の学問を洗い直すものである」

とも定義されている。

この点については、ワシントン大学女性学部の開設科目に顕著に示されている。

①については、女性を対象とした学問であり、既存のさまざまな学問分野から学際的に研究するものである。

②については、これまでの学問が男性の視点から形成されてきたことから、女性の人間性尊重としての視点からの見直しをする。

「女性学」は、一口で言えば「女性の視点を通しての研究」ではあるが、基本的思想としてこれまでの歴史的な性差別とその性差別的文化からの人間解放の視点から人間性の尊重、真の男女平等を目指すものである。

3. 「女性学」アプローチの学問領域と担当者の専門分野

「アメリカの大学（州の認可登録大学のうち西部地区144校、東部地区664校）における女性学開設状況」についての調査をしたが、直接

訪問調査が可能であった西部地区においては開設状況について詳細なデータの入手が出来た。女性学開設の35校中「女性学部」として独立の大学は7大学のみであるが、この2～3年で学部独立の機運がすすんでいるということであった。

東部地区における開設状況は、認可校664校のうち104大学で、その内容は多岐にわたる既成の研究分野のなかで講座として開設されているが、詳細についての調査は継続中である。

さらに、「女性学」担当者の専門分野をみると、人文・社会科学系からの研究者が多く、さまざまな分野の研究から学際的にとらえながら、研究と教育の相互関連によって変革を目指している。

(なお、本稿は平成12年度国外留学研修における成果の報告である)

アメリカの大学における女性学開設状況

《西部地区：4州》

州名・認可登録大学名	Private	Public	女性学開設状況 (☆印女性学部、その他プログラム)	取得学位	男/女別 学生数
《California》 California Lutheran U.	○		Women's Studies Program	B.A.	1,570
California State U. Fresno		○	Women's Studies Pro.	B.A.	5,834/7,435
California State U. Long Beach		○	Women's Studies Pro.	B.A.	7,451/10,908
California State U. San Marcos		○	Women's Studies Pro.	B.A.	3,140
Mckenna College	○		Gender Studies Pro.	B.A.	564/453
Mills College	○ Women's		Women's Studies Pro.	B.A.	/688
Occidental College	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	670/875
Pitzer College	○		Gender & Feminist Studies Pro.	B.A.	321/535
Pomona College	○		Women's Studies Pro.	B.A.	814/719
San Francisco State U.		○	☆ Women Studies Department	B.A. M.A. in Women Studies	14,640
San Francisco Scripps College	○ Women's		☆ Gender & Women's Studies Dept.	B.A.	/763
U. of California / at Berkeley		○	☆ Women's Studies Dept. (1976年女性学コース開設、1991年女性学部開設)	B.A.	11,109/11,596
U. of California / at Davis		○	Women & Gender Studies Pro.	B.A.	7,710/9,220
U. of California / at Irvine		○	Interdisciplinary Program in Women's Studies	B.A.	7,264/8,132
U. of California / at Los Angeles		○	Women's Studies Pro.	B.A.	11,129/13,539
U. of California / at Riverside		○	☆ Women's Studies Dept.	B.A. in Women Studies	4,418/5,294
U. of California / at Santa Barbara		○	Women's Studies Pro.	B.A. in Women Studies	7,749/9,337
U. of Southern California		○	Women's Studies Pro.	B.A.	13,950
California State U. Monterey Bay		○	Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	595/1,196
St. Mary's College of California	○		Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	901/1,368
San Diego State U.		○	☆ Dept. of Women's Studies (1970年全米最初に女性学コース開設、 女性学部に移行)	B.A. M.A.	8,621/11,116
Loyola Marymount U.	○		Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	1,847/2,486
Stanford U.	○		Women & Gender Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	3,356/3,236
U. of California San Diego		○	Critical Gender Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	16,230
U. of California Santa Cruz		○	Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	10,242
California State 認可登録大学92校中・女性学開設校25校・Private 10校/ Public 15校・うち女子大2校					
《Oregon》 Portland State U.		○	Women's Studies Pro.	B.A. or B.S.	3,256/3,985
U. of Oregon		○	Women's & Gender Studies Pro.	B.A. or B.S.	5,507/3,985
Oregon State 認可登録大学22校中・女性学開設校2校・Public 2校					
《Washington》 Pacific Lutheran U.	○		Women's Studies Pro.	B.A.	1,171/1,828
U. of Washington		○	☆ Dept. of Women Studies (1970年全米最初に女性学コース開設、 女性学部に移行)	B.A. MA. Ph.D	10,380/11,254
Washington State U.		○	☆ Dept. of Women's Studies	B.A. in Women Studies	7,265/7,075
Gonzaga U.	○		Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	1,203/1,378
Western Washington U.		○	Women's Studies Pro.	B.A.	4,611/5,901
Washington State 認可登録大学20校中・女性学開設校5校・Private 2校/ Public 3校					
《Arizona》 Arizona State Univ-Main		○	Women's Studies Pro.	B.A.	12,451/13,952
U. of Arizona		○	☆ Women's Studies Dept. (1975年女性学コース開設、女性学部 に移行)	B.A.	10,229/11,375
Prescott College	○		Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	309/425
Arizona State 認可登録大学10校中・女性学開設校3校・Private 1校/ Public 2校					

注：「女性学開設状況」のうち、「女性学部」として開設されているところには☆印を付した。

《東部地区：15州》

州名・認可登録大学名	Private	Public	女性学開設状況	取得学位	男/女別 学生数
《Maine》 Bates College	○		Women's Studies Program	B.A.	853/871
Bowdoin College	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	777/831
Colby College	○		Women's Studies Pro.	B.A.	853/911
U. of Maine		○	Women's Studies Pro.	B.A.	3,302/3,021
U. of Southern Maine		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	1,618/2,320
Maine State 認可登録大学18校中・女性学開設校5校・Private 3校・Public 2校					
《New Hampshire》 Dartmouth College	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	2,109/1,988
New England College	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	315/324
U. of New Hampshire		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	3,998/5,763
New Hampshire State 認可登録大学14校中・女性学開設校3校・Private 2校／Public 1校					
《Georgia》 Agnes Scott College	○ Women's		Women's Studies Pro.	B.A.	/838
Emory University		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A. Dr.	2,482/2,834
Spelman College	○ Women's		Women's in Science Pro.	B.A.	/1,900
U. of Georgia		○	Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	9,677/11,858
Georgia State 認可登録大学46校中・女性学開設校4校・Private 2校／Public 2校・女子大2校					
《New York》 Barnard College	○ Women's		☆ Department of Women's Studies	B.A.	/2,250
City University of New York/Brooklyn College		○	Women's Studies Pro.	B.A.	2,699/4,041
City University of New York/Hunter College		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	2,905/6,929
City University of New York/Queens College		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	2,795/4,382
Colgate University	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	1,355/1,449
Columbia University/Columbia College	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	1,908/2,005
Columbia University/School of General Studies	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	260/291
Cornell University	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	7,137/6,532
New York University	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	6,587/9,396
Fordham University	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	2,376/3,312
Hamilton College	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	873/836
Hobart & W.Smith College	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	873/954
Sarh Lawrence College	○		Women's Studies Pro.	B.A. M.A.	305/802
State University of New York at Albany		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	5,441/5,144
State University of New York at Buffalo		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	7,617/6,513
State University of New York at Stony Brook		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	5,742/5,676
State U. of New York Oswego		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	2,860/3,290
State U. of Purchase		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	1,310/1,581
Syracuse University	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	4,828/5,654
Union College	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	1,095/1,013
Union of Rochester	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	2,265/2,046
New York Wells College	○ Women's		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	/383
City U. of New York / College of Staten Island		○	Women's Studies Pro.	B.A.	2,979/3,510
Eugene Lang College of New School U.	○		Women's Studies Pro.	B.A.	152/306
Skidmore College	○		Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	935/1,329

州名・認可登録大学名	Private	Public	女性学開設状況	取得学位	男/女別 学生数
State U. of New York / College at Brockport		○	Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	2,482/3,128
State U. of New York / New Paltz		○	Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	1,896/3,169
Vassar College	○		Women's Studies Pro.	B.A.	892/1,384
New York State 認可登録大学135校中・女性学開設校28校・Private17校/ Public11校・うち女子大2校					
《Massachusetts》 Amherst College	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	863/801
Hampshire College	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	1,172
Harvard College	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	3,596/3,096
Mass. Institute of Technology	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A. M.A. Dr.	2,497/1,743
Mount Holyoke College	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.,	B.A.	2 /1,898
Simmons College	○ Women's		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	/1,090
Smith College	○ Women's		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	/2,548
University of Mass. Amherst		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	8,810/8,933
University of Mass. Boston		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	2,566/3,413
Wellesley College	○ Women's		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	/2,240
Wheaton College		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	508/970
Brandeis U.	○		Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	1,348/1,730
Clark U.	○		Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	792/1,157
Northeastern U.	○		Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	6,943/6,379
Simon's Rock College of Bard	○		Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	158/209
Suffolk U.	○		Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	1,226/1,534
Tufts U.	○		Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	2,333/2,598
Massachusetts State 認可登録大学69校中・女性学開設校17校・Private14校/ Public 3校・うち女子大3校					
《New Jersey》 Rutgers, The State University of New Jersey / Douglass College		○ Women's	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	/2,954
/Livingston College		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	2,025/1,328
/Newark College		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	1,366/1,727
/Rutgers College		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	5,138/5,518
/College New Brunswick		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	765/596
Bloomfield College	○		Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	394/881
Drew U.	○		Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	607/823
Rowan U.		○	Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	2,975/3,646
New Jersey State 認可登録大学39校中・女性学開設校8校・Private 2校/ Public 6校・うち女子大1校					
《Virginia》 Hollins University	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	2 /784
Old Dominion University		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	3,469/4,517
Randolph Wacon College	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	519/579
University of Richmond	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	1,509/1,525
College of William and Mary		○	Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	2,293/3,111
Mary Baldwin College	○		Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	18/999
Virginia State 認可登録大学40校中・女性学開設校6校・Private 4校/ Public 2校					
《North Carolina》 Duke University	○		Women's Studies/Gender Studies Program	B.A.	3,287/3,035
East Carolina University	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	5,783/8,054
Guilford College	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	513/607
University of North Carolina / at Chapel Hill		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	5,714/8,878
University of North Carolina / at Greensboro		○	Women's Studies Pro.	B.A.	2,794/5,656
North Carolina State 認可登録大学48校中・女性学開設校5校・Private 3校/ Public 2校					

州名・認可登録大学名	Private	Public	女性学開設状況	取得学位	男/女別 学生数
《South Carolina》 University of South Carolina at Columbia		○	Women's Studies/Gender Studies Program	B.A.	5,734/6,942
South Carolina State 認可登録大学27校中・女性学開設校1校・Public 1校					
《Florida》 Eckerd College	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	682/831
Florida International University		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	8,085/7,857
New College of University of South Florida		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	228/389
University of South Florida		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A. M.A.	6,843/9,445
Florida Atlantic U.		○	Women's Studies Pro. (2002年開設)	M.A.	3,317/4,801
Florida State U.		○	Women's Studies Pro.	B.A.	9,984/12,491
U. of Miami		○	Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	3,624/4,201
Florida State 認可登録大学36校中・女性学開設校7校・Private 1校/ Public 6校					
《Connecticut》 Trinity College	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	1,032/930
University of Connecticut		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	5,348/6,063
University of Hartford	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	2,058/2,107
Wesleyan University	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	1,322/1,431
Yale University	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	1,792/2,601
Connecticut College	○		Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	718/934
Southern Connecticut S. U.		○	☆ Women's Studies Department	B.A. M.A.	2,310/3,220
Connecticut State 認可登録大学20校中・女性学開設校7校/ Private 5校/ Public 2校					
《Delaware》 University of Delaware	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	5,960/8,476
Delaware State 認可登録大学5校中・女性学開設校1校・Private 1校					
《Illinois》 Depaul University	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	3,291/4,493
Roosevelt University	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A. M.A.	590/900
Knox College	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	536/653
Northwestern U.	○		Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	3,692/4,084
Illinois State 認可登録大学60校中・女性学開設校4校・Private 4校					
《Indiana》 Depaw University	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	951/1,223
Earlham College	○		Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	484/619
Indiana University at Bloomington		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	11,983/14,156
South Bend		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	1,059/1,747
Goshen College	○		Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	370/520
Manchester College	○		Women's Studies Pro. (2002年開設)	B.A.	495/526
Indiana State 認可登録大学42校中・女性学開設校6校・Private 4校/ Public 2校					
《Tennessee》 University of Tennessee at Knoxvill		○	Women's Studies/Gender Studies Pro.	B.A.	8,885/9,106
Tennessee State 認可登録大学38校中・女性学開設校1校・Public 1校					
《Alabama》 U. of Alabama		○	☆ Department of Women's Studies (1972年女性学コース開設、女性学部 に移行)	B.A. M.A.	6,329/6,812
Alabama State 認可登録大学27校中・女性学開設校1校・Public 1校					

注：「女性学開設状況」のうち、「女性学部」として開設されているところには☆印を付した。

調査の集計

地域	調査対象大学	女性学開設大学数	調査対象大学数との比率
西部地区 <4州>	認可登録大学 144校	Private 13校 (うち女子大学 2校 15%)	9%
		Public 22校 (" 0校 0%)	15%
		小計 35校 (" 2校 6%)	24%
東部地区 <15州>	認可登録大学 664校	Private 62校 (うち女子大学 7校 11%)	9%
		Public 42校 (" 1校 2%)	6%
		小計 104校 (" 8校 8%)	16%
集計	認可登録大学 808校	Private 75校 (うち女子大学 9校 12%)	9%
		Public 64校 (" 1校 2%)	8%
		合計 139校 (" 10校 7%)	17%

注：本調査は、帰国後においても継続調査を行っているため、「2002年開設」されたものを追加した。